



学校評価だより

～最終自己評価～

令和5年2月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和4年度最終期の学校評価として、児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。2学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。

今後の取組を進めるにあたり、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す生徒像

◇確かな学力を身に付けた子（知育）

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

重点目標





(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

(2) 思いやりがあり心豊かな子の育成

(3) 健康・安全を育み守る子の育成

(4) 魅力ある学校づくりの推進

本年度重点事項

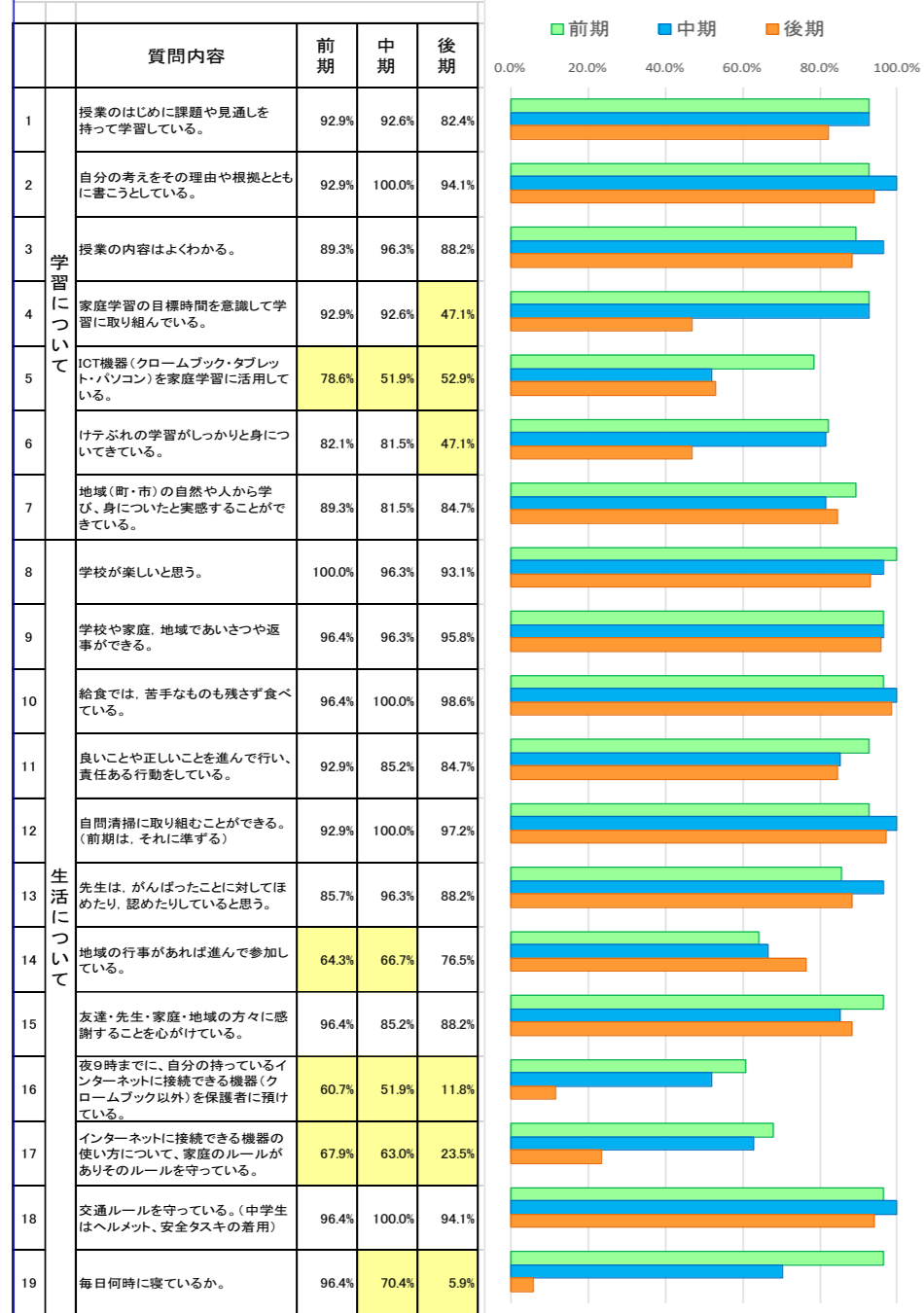
(1) 学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる見方・考え方を持った児童・生徒の育成	(2) 自己管理能力、自らコントロールする力の育成	(3) 体力向上の取組の充実	(4) 学びを実感できる児童・生徒会活動の創造
<p>《結果・分析》</p> <p>○教師は、児童・生徒と共に課題をつくるよう努め、児童・生徒は課題や見通しをもって授業に取り組んでいます。【児生1, 教I-3】</p> <p>○自分の考えの理由や根拠を示しながら文章を書くことができます。【児生2, 教I-4】</p> <p>○保護者から「授業がわかりやすいよう工夫して指導している」と教師の学習指導への十分な理解をいただいています。【保7】</p> <p>▲家庭学習において、「けてぶれ学習」の取組やクロムブックを活用した学習などの定着が不十分です。また、学習時間を意識して取り組んでいない状況です。【児生5, 保3】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇授業では、児童・生徒とともに課題を意識して、今後も実践を継続していきます。</p> <p>◇家庭学習では、「自律的な学習者」となるように効果的な学び方を指導し、個の学力定着を図ります。また、学習意欲を高めるために、お便り等を有効活用し、「けてぶれ学習」を定着させ、見通しをもって取り組めるようにします。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○挨拶に関する回答は、児童・生徒、保護者、教職員共に評価は高いです。2学期以降は、「あいどる+下足」の視点から「止まって挨拶する」ことができるようになっていきます。</p> <p>【児生9・12, 保2, 教II-1・2】</p> <p>○効果的な道徳授業の実践により、善悪の判断や自律心の育成、交通ルールを守ることに繋がっています。【教II-4, 児生18】</p> <p>▲インターネット機器に関する項目では、家庭と連携して取り組んできましたが、児童生徒、保護者共に「預けている」「守っている」の割合が中間期に比べてどの学年も低くなっています。</p> <p>【児生16・17, 保5・6】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇朝の交通指導や学級指導により、「止まって挨拶」する児童・生徒が増えました。上級生が率先して下級生の手本となるような挨拶ができるよう継続して取り組みます。</p> <p>◇インターネット機器の使い方について、家庭とさらに連携し、共通理解を図り、今年度中にルールを作るようお願いしていきます。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○後期も給食時間等で食習慣に関する指導を継続してきたことにより、ほとんど児童・生徒が残さずに給食を食べています。【児生10, 教III-1】</p> <p>○毎朝朝食を食べているという児童・生徒がほとんどで、楽しく学校生活を送っています。【保4】</p> <p>▲就寝時刻について、学年が上がるにつれて遅く、睡眠時間の確保が困難になっています。2学期以降はアンケートも実施し、改善を図ってきました。【児生19, 教III-2】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇給食便りや学級指導により、朝食を食べない児童・生徒（中期）がゼロになり、やや改善が見られます。今後も家庭と連携し、取り組みます。</p> <p>◇外部講師を招聘し、「ネット利用における光と影等についての学習会」や「睡眠の大切さについての講話」を実施し、児童・生徒に自分事として捉え、考えさせる機会を設定しました。生活改善を図っている児童・生徒が少しずつ増えてきています。今後は、保護者向けの講話も開催し、家庭との連携を図っていきます。</p>	<p>《結果・分析》</p> <p>○教師が企画段階で支援したり、活動後の振り返り時間を確保したりしてきたことから、児童・生徒による各集会では、より一層計画的に開催し、児童・生徒主導で自治活動に取り組んでいます。【児生8・12, 教IV-1・2・3】</p> <p>○地域行事への参加に関する項目では、コロナウイルス感染症対策が原因で地域行事が精選・縮小されているため、児童・生徒の評価が低いと思われる。【児生14, 保1】</p>  <p>《改善策》</p> <p>◇今後も意欲的に教育活動、自治活動に取り組めるよう、教職員は引き続き創意工夫に努め、指導していきます。</p> <p>◇特別活動や行事と、地域をつなげ、地域行事の意義について考え、体験活動などの学習活動を進めていきます。そして、地域の行事について調べたり、実際に参加したりするよう計画・実践していきます。そのためにも一層、地域や保護者と連携し（学校運営協議会の運用）、進めていきます。</p>

児童・生徒アンケート結果

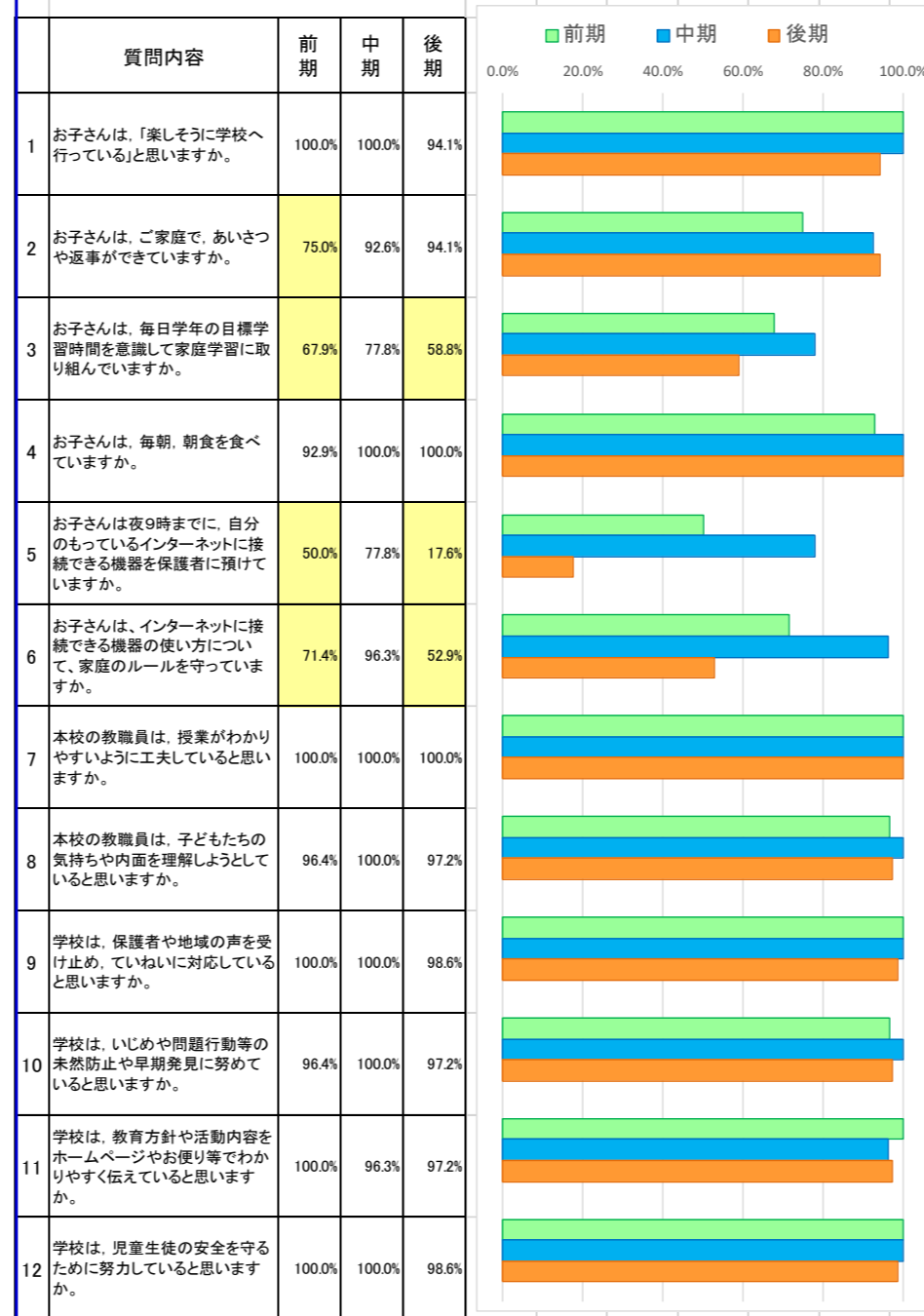
保護者アンケート結果

教職員アンケート結果

学校評価・第2回(児童・生徒アンケート)



学校評価・第2回(保護者アンケート)



令和4年度 学校評価(教職員アンケート)



肯定的に回答(4または3)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C評価の項目(黄色部分)については速やかに改善策を考え対応します。

- ☆児童・生徒アンケート
 - A(前期・中期:85以上・後期:80%以上)
 - B(前期・中期・後期:70%以上)
 - C(前期・中期・後期:70%未満)
- ☆保護者アンケート
 - A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)
- ☆教職員アンケート
 - A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

【学校関係者評価委員からいただいた感想・意見】

- 小中一貫、義務教育学校の良い点である小中の連携がとれている。
- 定着させるために今後も「けてぶれ学習」を続けてほしい。
- 全学年において楽しく学校へ行くことができているのは良いことです。今後も一層学校の環境づくりをお願いしたい。
- 食事については改善が見られる。朝食の摂取や就寝時刻について子ども達にも定期的に確認して行ってほしい。
- インターネットのルールや使用について、家庭と学校が連携して取り組むことはもちろん、保護者向けに外部講師を招聘しての講習会を実施し、理解した上でルール作りを徹底させてほしい。
- 親が遅くまでスマホを触っていると子どもに止めるよう指導はできないと思う。